

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000101
事業所名	グループホームあおぞら

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ禍によって地域交流が途絶えているが、地域の情報は自治会長から得られている。 運営推進会議のメンバーでもある自治会長は、ホーム運営に理解があり、様々な面で協力的である。時々ホームに顔を出し、労いの言葉をかけてくれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	新型コロナウイルスへの感染防止の観点から、過去1年間(6回)の運営推進会議はすべて書面開催となった。 事前に、会議メンバーへホームの状況報告等を記載した書面を送り(FAX等)、電話等で意見を聞き取っている。 聞き取った意見や要望等は、議事録に記載して周知している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	コロナ下ではあるが、利用料の負担軽減の申請業務があることから、管理者が毎月広域連合の担当窓口を訪問しており、良好な関係維持に努めている。 長らく中断していた介護相談員のホーム訪問も、新年度から再開される予定である。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	これまでは家族面会を制限(Web面会、窓越し面会等)していたが、コロナの感染状況が落ち着いてきたことに伴い、今月(令和5年3月)から対面での面会を認めている。 ただし、事前に予約をした上で、相談室もしくは地域交流室での面会となり、共有空間や居室への立入りは認めていない。 毎日、多数の家族が面会に訪れており、職員が意見等を聞き取っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	—
総合評価		○

【備考欄】

新型コロナウイルスへの感染防止の観点から、過去1年間(6回)の運営推進会議はすべて書面開催となっている。
--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								